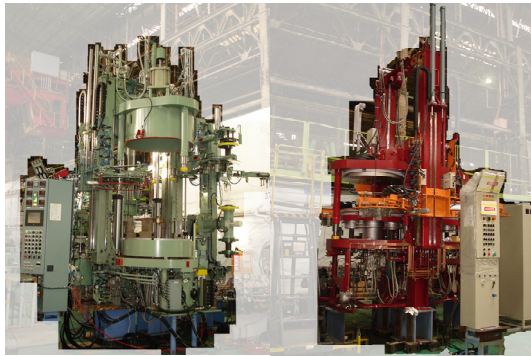


設置が容易で省スペースを実現した乗用車用 ピットレス型タイヤ加硫機

Pit-Less Tire Curing Press for Automobile
with Short Period Installation and Less Space Occupation



機械事業部
ゴム・タイヤ機械部設計課
☎(082)291-2316

タイヤ加硫機は、あらかじめ完成品に近い形に成形された生ゴムのタイヤを金型内に入れ、熱と圧力を加えることにより、市販されている完成タイヤの形状に仕上げる機械である。内側に加える圧力で金型が開かないように金型を押さえ込んでおく必要があるため、タイヤ加硫プレスとも言う。

1. 三菱製タイヤ加硫機

三菱重工業では、過去、機械式(モーター駆動式)加硫機を生産していたが、高品質タイヤ需要の伸張により現在ではほとんど油圧駆動式加硫機を生産している。加硫はもとよりタイヤの搬入、搬出から、タイヤ金型の交換まで全自動で行うことができる。

油圧駆動式加硫機には大別して次の2種類がある。

タイプ	説明
コラム型(図1～図3)	金型内に設置したタイヤ内の圧力により金型が開こうとする力を、金型の周囲に配置したロッドで受け、コラムで金型の開け閉め時のガイドを行う。
フレーム型(図4)	タイヤの内側に加える圧力により金型が開こうとする力を、門形のフレームで受ける。



図1 油圧駆動式コラム型加硫機
乗用車用、左右同時作動型



図2 油圧駆動式コラム型加硫機
乗用車用、左右独立作動型

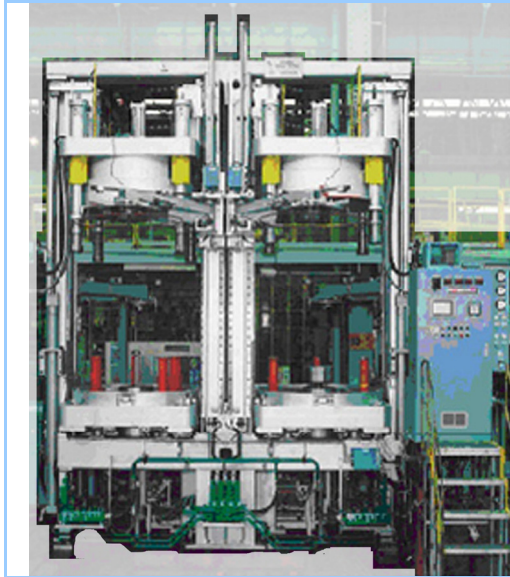


図3 油圧駆動式コラム型加硫機
トラック・バス用、左右独立作動型



図4 油圧駆動式フレーム型加硫機
乗用車用、左右同時作動型

2. ピットレス型タイヤ加硫機

2.1 ピットレス型タイヤ加硫機のメリット

近年、各タイヤ工場では初期設備投資費用の低減及び生産性向上の観点から、

- (1) ピット工事が不要
- (2) 客先での機械据付期間が短い
- (3) 省スペースで面積生産性(＝単位面積当たりの生産量)が大きい
を満足するタイヤ加硫機のニーズが高まっている。

2.2 構造上の特徴

主な特長としては

- (1) 床置きタイプのため従来機で必要であったピット基礎工事を省略。
 - ・ 客先の設備投資費用低減
 - ・ 工期短縮(△2ヶ月)
- (2) 工場出荷時の解体箇所を最小限とし、現地での据付期間を短縮。
 - ・ 客先生産開始までのリードタイム短縮
- (3) 機械幅寸法低減により面積生産性を向上(他社比△10%以上)
 - ・ 生産性向上
 があげられる。

当社ではこのようなニーズに加え、省エネ、省人化等種々の客先要求にマッチした加硫機を、日本を初めとする世界各国の客先に提供していく。